



東京日々新聞

八百廿貳号



夜類調度

益と白玉館賣歩行
つゝ深更の丈夫お扮つ
女房が諸方の蒙家へ忍
び入と夫の例も兒と抱き

引延す夜盗と
違ふ訓と甘んぜず、捆拵付
うら夫婦中俱し思事と

新下惠へ館を見て嬰兒と養ふ良といふ
盗跖の館と以て鎖と開ふ宜と



新開町の雇人
鈍々火

夏目山崎の
天罰談の末、野天様木の
籠中、ふつあがき

金屋
渡辺影栄

